

## 用意するもの

●布帛素材 (有効生地巾 110cm 以上必須)

110cm 巾 Sサイズ 1.7m (1.4)、 Mサイズ 2.0m (1.5)

Lサイズ 2.1m (1.8)

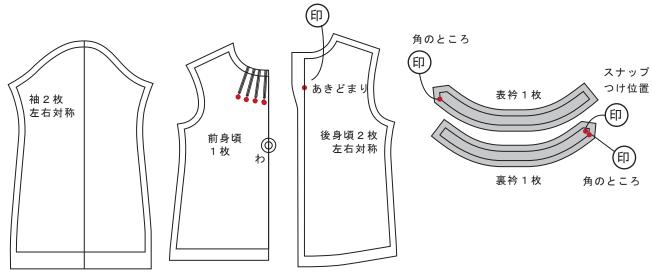
LL サイズ 2.2m (1.9)/

この型紙は、差し込み(型紙を上下逆にしての配置)にすると 用尺がかなり縮まるため、差し込み可能な素材を使うときの 用尺も併せて出しています (カッコ内赤字の部分)

- ●接着芯 0.2m
- ●スナップボタン 6 mm 径 1 組
- 6 mm 幅コールゴム (S→21cm×2本)(M→22cm×2本)(L→23cm×2本)(LL→24cm×2本)

## 準備

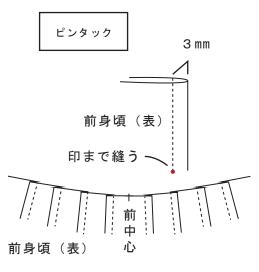
- ●裁断パーツ5 合計7枚
- ●表衿、裏衿、裏面に接着芯
- ●赤い丸のところに印

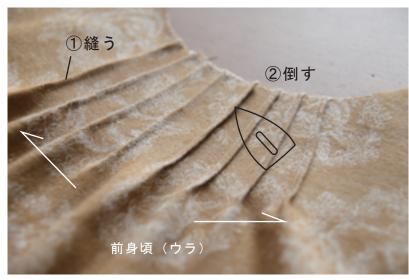


準備



裁断。前身頃のピンタック先、表衿、裏衿の後中心下の角とスナップつけ位置に 印を入れます。表衿、裏衿は、ウラ面に接着芯を貼っておきます。





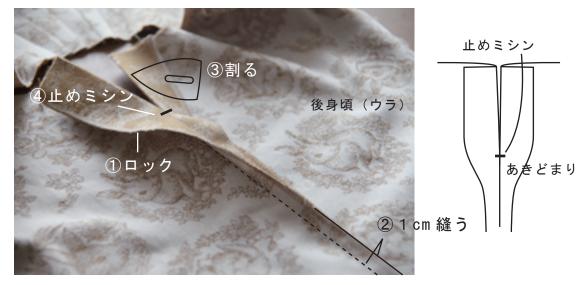
ピンタックを縫います。生地の表から印通りにつまんで、3mmで 印までを縫います。前中心を対称に、脇方向に倒します。

肩縫い



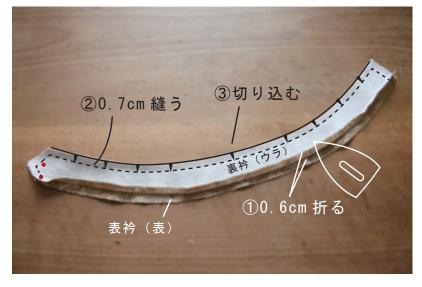
前後身頃の肩を、生地の表側からロック始末します。前後の肩を中表に合わせ1.5cmで縫い合わせます。縫い代は割ります。

後中心



後身頃の見返し端〜後中心縫い代は、生地の表からロック始末します。 後身頃2枚を中表に合わせて後中心を、あきどまり位置まで1cmで中縫い します。縫い代は割り、あきどまりに止めミシンを入れます。

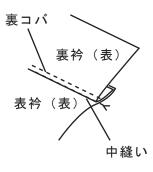
衿



あらかじめ裏衿の衿ぐり部分を、0.6ウラ側に折っておきます。表衿と中表に合わせて、0.7cmで後中心の印から衿外回りをもう一方の後中心の角まで縫います。 縫い代は、表に返したときツレないように、適度に切り込みを入れます。

裏コバ





3

縫い代を落ち着かせるために、縫い代を裏衿側に倒して、ミシンの入るところから 入るところまでをコバステッチします。



生地に厚みがある場合などは、左右の後中心の縫い代の角を落とします。 裏衿側の角の縫い代を、多く切り落とし、段差をつけます。 (表にひびきにくく、縫い代の厚みを軽減する)



表に返すと、このように、裏衿が1mm、控えられた状態になります。



身頃の衿ぐりと、表衿を中表に合わせて、0.7cm で縫い合わせます。 裏衿は、縫いこまないように、はねておきます。

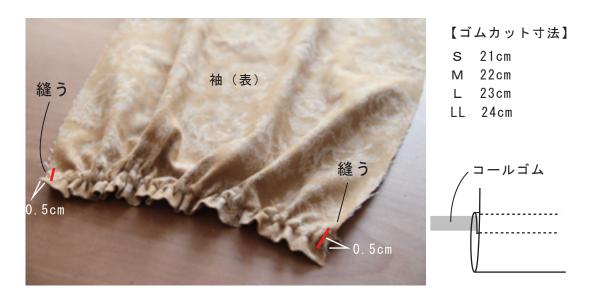


裏衿をできあがりにかぶせて、表身頃側からコバステッチで始末します。

袖



袖口は、上のように不完全三つ折りにして、2本のステッチを入れます。



ステッチとステッチの間にゴムを通し、両端の 0.5cm 内側を 止めミシンします。

袖つけ



身頃と袖を、中表に合わせて1cmで縫い合わせます。 縫い代は袖側を上にしてロック始末し、身頃側に倒します。

袖下~脇

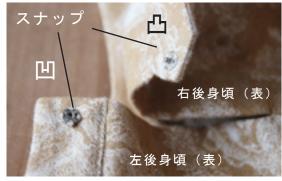


前後の袖下~脇を中表に合わせ、1cmで縫い合わせます。 縫い代は前身頃側を上にしてロック始末し、後身頃側に倒します。



裾を 1.2cm 完全三つ折りにしてステッチ始末 します。袖口に接ぎから 0.5cm で、 止めミシンを入れます。

仕上げ



衿にスナップをつけて完成です。